

# 宮城学院女子大学 教育学部開設記念シリーズ企画 “今、問う 教育の力”

## 第1回 みんなの学校—今、そして未来

日時：2015年10月31日(土)12:50～

会場：宮城学院女子大学 礼拝堂 他

参加費：無料



受付開始

12:30～

開会

12:50～ (礼拝堂)

第1部 映画「みんなの学校」上映 13:00～15:20

ミニ講演「気になる子ども-その理解と支援」

宮城学院女子大学 教授 渡辺 徹

第2部 分科会

15:40～17:00 (※会場は当日お知らせします)

◇第1分科会：疑似体験で知る発達障害の世界

講師：宮城学院女子大学 教授 渡辺 徹

◇第2分科会：EN SKOLA FÖR ALLA(みんなのための学校)

—スウェーデンの政策と共に生きるためのカリキュラムを例に—

講師：宮城学院女子大学 教授 戸野塚 厚子

◇第3分科会：子どもの最善の利益を守る保育とは

講師：宮城学院女子大学 教授 足立 智昭

※第2部の会場は、当日お知らせいたします。

【主催】宮城学院女子大学、宮城学院女子大学発達科学研究所

【お問い合わせ】宮城学院女子大学発達科学研究所 担当：紺野

TEL: 022-277-6210 メールアドレス: child@mgu.ac.jp

【アクセス】駐車場に限りがあるため、出来る限り公共交通機関をご利用下さい。

—仙台駅から— A: 西口バスプール3番「宮城学院前」行乗車→「宮城学院前」下車。

B: 西口バスプール2番「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」行乗車→「宮城学院前」下車。【所要時間:約30分・料金350円】

—地下鉄旭ヶ丘駅から— 3番バス停「東勝山団地經由宮城学院前行」乗車→「宮城学院前」下車。【所要時間:約10分・料金230円】

—地下鉄八乙女駅から— 2番バス停「北環状線經由長命ヶ丘団地」線乗車→「上谷刈山添」下車。【所要時間:バス約9分+徒歩7分・料金230円】

## 【教育学部開設にあたって 学長 平川 新】

社会と自然とが目まぐるしい変化を見せる今、教育の果たす役割は、ますます重要になってきました。宮城学院女子大学は、2016年春、発達臨床学科と児童教育学科を統合し、新たに教育学部教育学科をスタートさせ、明日を担う子どもたちの教育に研究と人材育成の面から応えて参ります。今回は、“今、問う 教育の力”をテーマに、3回シリーズで教育の今と未来を考えていきます。ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

### 第1部 映画「みんなの学校」＋ミニ講演

不登校も特別支援学級もない。みんなが同じ教室で学ぶ大空小学校。

「映画は、日々生まれかわるよう育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？そして、あるべき公教育の姿とは？大空小学校には、そのヒントが溢れています。」（「みんなの学校」HPより）

みなさんと共に、大空小学校を「学校参観」しながら、教育の今と未来を考えてみたいと思います。また、映画上映のあとに「気になる子ども—その理解と支援」と題して、渡辺徹教授によるミニ講演を開催します。

気になる子どもは「困った子ども」ではありません。「困っている子ども」なのです。インテグレーション(統合)からインクルージョン(包括)への変化のなかで、こうした子どもの理解と支援の在り方についてお話しします。(渡辺 徹)

### 第2部 分科会

#### ◇第1分科会 疑似体験で知る発達障害の世界

講師 渡辺 徹

障害をより深く理解するための手段として、疑似体験(キャップハンディ)があります。発達障害は中枢神経の機能障害が原因なので、疑似的状況を直接作り出すことは不可能ですが、ここでは、「読む・書く・聞く・話す・注目集中する」といった心理的な側面での困難状況を体験することで、子どもたちの置かれている世界に迫り、能力特性に合った支援の方法を参加者のみなさんで考えたいと思います。

#### ◇第2分科会 EN SKOLA FÖR ALLA(みんなのための学校)

—スウェーデンの政策と共に生きるためのカリキュラムを例に— 講師 戸野塚 厚子

スウェーデンでは、1980の教育改革において、社会民主労働党の「EN SKOLA FÖR ALLA(みんなのための学校)」とインテグレーション政策が大きくカリキュラムに反映されました。具体的には、みんな一緒にここで発達していこう、そのためにひとりひとりにあったカリキュラムを考えよう、「障害の概念」、「違い」、「多様性」を理解し、「共に生きる」ための学びを考えようという機運が高まり、それらが具体的になりました。福祉社会スウェーデンの小学校のカリキュラムや教科書を例に、日本の学校の今とこれからをみなさんといっしょに考える機会にしたいと思います。

#### ◇第3分科会 子どもの最善の利益を守る保育とは

講師 足立 智昭

昨年度施行された「幼保連携型こども園教育・保育要領」の総則では、教育および保育の目標として、「子どもの最善の利益を考慮しつつ、その生活を保障し、保護者と共に園児を心身ともに健やかに育成するものとする。」と記されています。しかし、多忙な日々の現場においては、「子どもの最善の利益」とは何かを考える暇もなく保育を行っていないでしょうか。日常の保育の中で、「子どもの最善の利益」が守られているか、具体的な事例を通してみなさんと一緒に考える分科会にしたいと思います。

## 【シリーズ “今、問う 教育の力” 今後の予定】

### ○第2回 みんなのこども園 —新制度の課題と展望—

日時：2015年11月21日(土)13:00～

### ○第3回 アクティブ・ラーニングで拓く次世代の授業

—教科への積極的な活用のあり方について—

日時：2016年1月23日(土) 時間未定

